

第25回 日・韓・中ジュニア交流競技会 (卓球)

The 25th Japan・korea・China
Junior Sports Exchange Meet 2017



期 日 : 平成29年8月23日(水)～28日(月)
会 場 : 茨城県日立市池の川さくらアリーナ
主 催 : (公財) 日本体育協会

大会スナップ





第 25 回 日・韓・中ジュニア交流競技会

1. 大会名 第25回 日・韓・中ジュニア交流競技会
2. 大会期日 平成 29 年 8 月 24 日（木）～ 28 日（月）
3. 会 場 茨城県 日立市池の川さくらアリーナ
4. 宿 舎 ホテルルートイン水戸県庁前
5. 種 目 男子団体・女子団体
6. 競技方法 日本・韓国・中国・開催地の4チームによるリーグ戦
7. 使用ボール Nittaku プラ3スタープレミアム
使用台 SAN-EI（三英）
8. 競技ルール I T T F 現行ルール
9. 日 程

8月24日(木)	10:00～12:00 13:00～16:00 15:00～16:00 16:00～17:00 18:00～19:00	集合（ホテルルートイン水戸県庁前 フロント） 練習 指導者ミーティング 監督・審判会議（ホテルレイクビュー水戸） 総合開会式（県民文化センター）
8月25日(金) ～ 8月26日(土)	6:00～ 8:00 10:00～13:00 18:00～19:00	モーニングアップ・朝食 競技 夕食
8月27日(日)	6:00～ 8:00 10:00～13:00 17:00～18:00 19:00～20:00	モーニングアップ・朝食 競技 夕食 フレンドシップ交流（県民文化センター）
8月28日(月)	6:00～ 8:00 8:00	モーニングアップ・朝食 解散（ホテルルートイン水戸県庁前）

10. 推薦役員・推薦選手名簿

役 職	氏 名	所 属
団 長 男子監督 女子監督	丸山 茂樹 加藤 慎一 小林 明史	(公財) 全国高体連卓球専門部 (公財) 全国高体連卓球専門部 山 口・岩国商業高等学校顧問
男子選手	沼村 斉弥 蛭田 龍 西村 星哉 渡井丈人士 吉田 俊暢	山 口・野田学園高等学校 福 岡・希望が丘高等学校 静 岡・浜松修学舎高等学校 静 岡・静岡学園高等学校 岩 手・専修大学北上高等学校
女子選手	木村 香純 岡崎 日和 青木 千佳 中村 貴莉 杉本 恵	大 阪・四天王寺高等学校 埼 玉・川口総合高等学校 福 井・福井商業高等学校 山 口・岩国商業高等学校 神奈川・横浜隼人高等学校

男子結果

日 本		(2) - (3)		韓 国	
1 S	沼村 斉弥 NUMAMURA SEIYA	3	8 - 11 11 - 4 12 - 10 11 - 9 —	1 S	郭儒彬 KWAK YU BIN
2 S	西村 星哉 NISHIMURA SEIYA	1	12 - 14 8 - 11 12 - 10 5 - 11 —	2 S	金大字 KIM DAEWOO
3 D	蛭田 龍 HIRUTA RYU 渡井 丈人士 WATAI TAKETOSHI	1	8 - 11 12 - 14 11 - 4 8 - 11 —	3 D	金大字 KIM DAEWOO 吳珉舒 OH MINSEO
4 S	吉田 俊暢 YOSHIDA TOSHINAGA	3	11 - 8 11 - 8 5 - 11 11 - 8 —	4 S	金玗璿 KIM WOOJIN
5 S	蛭田 龍 HIRUTA RYU	0	8 - 11 9 - 11 8 - 11 — —	5 S	崔仁赫 CHOI INHYEOK

女子結果

日 本		(4) - (1)		韓 国	
1 S	木村 香純 KIMURA KASUMI	3	13 - 11 11 - 3 11 - 8 — —	0 S	许美丽 HEO MIRYEO
2 S	中村 貴莉 NAKAMURA KIRI	1	9 - 11 11 - 7 6 - 11 5 - 11 —	3 S	沈賢主 SIM HYUNJU
3 D	木村 香純 KIMURA KASUMI 杉本 恵 SUGIMOTO MEGUMI	3	11 - 9 8 - 11 11 - 7 11 - 6 —	1 D	沈賢主 SIM HYUNJU 洪淳秀 HONG SUNSU
4 S	岡崎 日和 OKAZAKI HIYORI	3	11 - 2 11 - 9 12 - 10 — —	0 S	魏藝智 WEE YEJI
5 S	青木 千佳 AOKI CHIKA	3	11 - 2 12 - 10 11 - 6 — —	0 S	具教珍 KU KYOJIN

男子結果

日 本		(5) - (0)		茨 城	
1 S	西村 星哉 NISHIMURA SEIYA	3	11 - 7 11 - 5 11 - 9 — —	0 S	星野 峻佑 HOSHINO SHUNSUKE
2 S	蛭田 龍 HIRUTA RYU	3	11 - 4 11 - 6 11 - 4 — —	0 S	鈴木 皓貴 SUZUKI KOKI
3 D	沼村 斉弥 NUMAMURA SEIYA 吉田 俊暢 YOSHIDA TOSHINAGA	3	11 - 8 11 - 1 11 - 8 — —	0 D	小久保 晟弘 KOKUBO AKIHIRO 山根 優太 YAMANE YUTA
4 S	渡井 丈人士 WATAI TAKETOSHI	3	11 - 3 11 - 4 9 - 11 11 - 8 —	1 S	竹内 陽介 TAKEUTI YOSUKE
5 S	吉田 俊暢 YOSHIDA TOSHINAGA	3	11 - 3 11 - 4 11 - 1 — —	0 S	山根 優太 YAMANE YUTA

女子結果

日 本		(5) - (0)		茨 城	
1 S	岡崎 日和 OKAZAKI HIYORI	3	11 - 8 11 - 5 11 - 4 — —	0 S	小野 日花里 ONO HIKARI
2 S	杉本 恵 SUGIMOTO MEGUMI	3	6 - 11 11 - 4 11 - 6 11 - 7 —	1 S	安藤 はるか ANDOU HARUKA
3 D	岡崎 日和 OKAZAKI HIYORI 青木 千佳 AOKI CHIKA	3	11 - 2 11 - 9 12 - 2 — —	0 D	稲葉 文子 INABA AYAKO 小野 日花里 ONO HIKARI
4 S	木村 香純 KIMURA KASUMI	3	11 - 7 14 - 12 11 - 8 — —	0 S	平塚 真歩 HIRATUKA MAHO
5 S	中村 貴莉 NAKAMURA KIRI	3	6 - 11 11 - 3 11 - 5 11 - 8 —	1 S	糸賀 華菜 ITOHA KANA

男子結果

日 本		(2) - (3)		中 国	
1 S	沼村 斉弥 NUMAMURA SEIYA	2	11 - 13 10 - 12 11 - 8 11 - 7 8 - 11	3 S	徐海东 XU Haidong
2 S	渡井 丈人士 WATAI TAKETOSHI	3	11 - 8 11 - 8 11 - 4 — —	0 S	杨碩 YANG Shuo
3 D	沼村 斉弥 NUMAMURA SEIYA 西村 星哉 NISHIMURA SEIYA	3	9 - 11 8 - 11 11 - 7 11 - 9 11 - 8	2 D	徐海东 XU Haidong 纪佳乐 JI Jiale
4 S	蛭田 龍 HIRUTA RYU	0	13 - 15 10 - 12 9 - 11 — —	3 S	袁励岑 YUAN Licen
5 S	吉田 俊暢 YOSHIDA TOSHINAGA	0	10 - 12 8 - 11 5 - 11 — —	3 S	全开源 QUAN Kaiyuan

女子結果

日 本		(0) - (5)		中 国	
1 S	青木 千佳 AOKI CHIKA	1	11 - 6 7 - 11 7 - 11 5 - 11 —	3 S	孙铭阳 SUN Mingyang
2 S	木村 香純 KIMURA KASUMI	2	11 - 9 11 - 5 7 - 11 3 - 11 7 - 11	3 S	王晓彤 WANG Xiaotong
3 D	青木 千佳 AOKI CHIKA 中村 貴莉 NAKAMURA KIRI	0	9 - 11 8 - 11 4 - 11 — —	3 D	孙铭阳 SUN Mingyang 黄凡真 HUANG Fanzhen
4 S	岡崎 日和 OKAZAKI HIYORI	0	5 - 11 6 - 11 6 - 11 — —	3 S	黄凡真 HUANG Fanzhen
5 S	杉本 恵 SUGIMOTO MEGUMI	0	7 - 11 5 - 11 5 - 11 — —	3 S	王添艺 WANG Tianyi

第25回日本・韓国・中国ジュニア交流競技会に参加して

総監督 全国高体連卓球専門部 丸山 茂樹

25回目の節目を迎えるこの交流会に総監督として参加できたことをありがたく感じております。また、歴史の重みを感じるだけでなく、多くのことを学ばせていただいたことにも大変感謝しております。この日本・韓国・中国ジュニア交流競技会は、茨城県「日立市池の川さくらアリーナ」において8月24日（木）～28日（月）の日程で開催されました。宿泊地と試合会場が離れていたため移動に時間がかかり、かなり厳しいスケジュールでしたが、茨城県の入念な事前準備のおかげで無事全日程を終了することができました。平成31年度に開催される国民体育大会の会場となる「池の川さくらアリーナ」での試合は、選手にとって意義深いものだったと思います。

24日は、宿舍「ルートイン水戸県庁前」に集合してから選手・監督は本会場へ移動し2時間程度の練習を行いました。総監督は同時間帯に「ホテルレイクビュー水戸」での日本選手団指導者ミーティング、三カ国の監督・審判会議に出席しましたが、今回、中国女子の参加が4名になってしまった関係から、オーダーは対中国戦に限り高体連方式を採用することで決着しました。夕方からは全参加選手・監督が一堂に会し「県民文化センター」で開会式が行われました。

25日から競技が始まりましたが、平日の通勤ラッシュに重なったことで体育館への到着が大幅に遅れ、試合時間を繰り下げての開始となりました。25日は男女共韓国チームとの対戦で女子は4対1で勝利しましたが、男子は2対3で敗れました。女子選手に関しては日本の方が技術的・精神的に上回っていました。一方、韓国男子選手はパワー・技術とも安定した素晴らしいものを持っており、日本選手は最後まで韓国選手のボールの質に戸惑っているように感じました。

26日は地元茨城県と対戦しました。男女とも調子が上向き、実力をいかんなく発揮できたと思います。また、午後は、2年後の国体に向けて選手強化を図る茨城県選手と出発時間直前まで練習試合を行い、翌日の最終戦に向けて調整しました。

27日の最終日は中国との対戦でしたが、女子は「中国」を意識しすぎたのか、粘りのあるプレーが少なかったように思います。素晴らしいプレーで相手を崩しながらも決定打を欠き、流れを引き寄せることができませんでした。結果は0対5で一勝することもできませんでした。男子は初日の敗戦がよほど悔しかったのか、かなりの気合いで中国に立ち向かっていきました。中国選手が得点のたびに雄叫びを上げ、監督もベンチから大声でアドバイスするなど、世界ジュニアのランク選手を2人も揃えた中国を慌てさせた日本男子でしたが、2対3で敗れ、3時間を超える熱戦を制することはできませんでした。技術的に差は感じられず、戦術が少し上回ったほうに勝利が転がり込んだ、という表現が適切のような気がします。夜には、フレンドシップ交流が19時30分より「県民文化センター」で実施され、地元高校生の書道パフォーマンスやマーチングバンド演奏、各国代表のスタンツで大いに盛り上がりましたが、日本代表としての自覚のない行為が一部の選手団に見られたことが残念でした。日本代表としての重みを感じて参加してほしいと強く思います。

最後になりますが、大会運営にご尽力いただきました茨城県大会実行委員会、同卓球連盟、同高体連卓球専門部の方々をはじめ、参加にあたりお骨折りいただいた公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本卓球協会の方々に厚く感謝申し上げます。

全国高体連卓球専門部の理事として、第25回日韓中ジュニア交流競技会に男子監督に推薦頂きました。参加の打診を頂いたとき、自分にできるかという戸惑いと同時に、私自身にとっても大きな経験ができるチャンスだと思いました。そして、自分の学校の先生方や部活動の選手達の下承を得てこの大会に参加することになりました。

私自身は岡山大学3回生のときに全国国公立大学卓球連盟の推薦を受け、第3回国公立大学卓球部海外遠征のメンバーとして2週間イギリス・フランス・ドイツに滞在した経験があります。そのときに一緒に行った10名の遠征メンバーとの交流や、各国での練習や試合、交流は今でも心に残っており、卓球について自分自身が見つめ直し、卓球を好きだから続けてきたことを改めて考え直すいい機会になりました。そんな経験を選手達にして欲しいと考え、今回引き受けました。

8月24日、水戸のホテルに集合した後、顔合わせをしてから練習しました。春季合宿で上位の成績を上げ、選ばれた5人は全員3年生で、皆仲が良く非常にいい雰囲気ではじめることができました。キャプテンを野田学園の沼村君にお願いしました。また、専大北上の吉田君は昨年も参加していて、雰囲気は分かっていたようで、他の選手も安心していました。夜は開会式や歓迎のアトラクションがありました。茨城県内の高校生が行った演奏や演技は素晴らしいものでした。その後、ミーティングを行い、全員がダブルスに1回出場するように韓国・茨城・中国のオーダーを選手に考えるように指示しました。

8月25日、韓国戦。1番沼村は郭に最初調子が出ませんでした。落ち着きを取り戻し3-1で勝利。2番西村はエースの金大字に1-3で敗退しました。ダブルスは蛭田・渡井と金大字・呉の対戦。2人のコンビネーションもよく肉薄しましたが、1-3で敗退しました。この試合が最も惜しい試合でした。4番吉田は金玗璫に3-1で勝利しました。吉田のカットが冴え渡り、観衆がどよめくほどのいいパフォーマンスでした。5番蛭田は崔に0-3で敗退しました。相手のサービスがうまく、蛭田のチキータも封じられ、惜しくも敗退しました。結果は2-3で敗退。選手は本当に悔しそうで、韓国との差は無いと感じたようです。

8月26日は茨城戦。茨城は2年後に国体を控え、1年生を中心に強化を進めているところでした。日本代表力を発揮し、茨城を圧倒し5-0で勝利しました。また、午後からは茨城県の全選手と練習試合を行いました。団体戦で対戦しなかったすべての選手と試合をしました。茨城県の選手がゲームを奪う場面も出てくるようになり、試合後には日本代表にアドバイスをもらい選手も茨城の地元スタッフも満足していたようでした。これを機に国体に向けて強くなってもらえたらと思いました。選手もしっかり練習できて明日の中国戦に向けていい調整ができました。

8月27日は中国戦。ここは今の日本で最高のオーダーで挑みました。1番沼村は徐と対戦。徐は世界ジュニアベスト16で張本にゲームオールジュースで敗れるという実力者。沼村は肉薄しましたが2-3と敗退しました。2番渡井は楊と対戦。楊は世界ジュニアベスト4という実力者ですが、渡井のサーブ力とパワーが勝り3-0で勝利。3番沼村・西村は徐・紀と対戦。2ゲームを先に落とす苦しい展開から3から5ゲームを取り返し3-2で勝利し、2-1で中国をリードしました。しかしここから中国は強く、4番蛭田は袁に0-3、5番吉田は全に0-3で敗退しました。5番まで試合が纏れるという素晴らしい展開でしたが、最後は中国の底力が出てきました。結果は2-3。3時間を超える試合時間で本当によく頑張りましたが、選手はこの結果に満足しておらず

悔しそうでした。本当に頼もしい選手達でした。

今回の試合で感じたことは、韓国も中国もサーブやドライブの回転量が本当に強いということです。こちらが思っている以上に回転量があり、選手は戸惑っていました。また、体幹が強く、大きなラリーでもぶれないと感じました。しかし、日本代表もその選手達と互角の打ち合いを演じたり、チキータやサーブなどのテクニックで上回る部分も多く、いい勝負ができることも感じました。それぞれの母体の学校での指導が行き届いていることが垣間見えるいい試合だったと思います。

これからいろいろな場所で活躍する選手達を率いることができ、本当にいい経験になりました。この経験を生かして自分のチームだけでなく多くの場面で全国の皆様に還元できるように頑張っていきたいと思います。関係者の皆様、本当にありがとうございました。

女子監督 岩国商業高校 小林 明史

今回初めて日韓中ジュニア交流競技会に女子監督として参加させていただきました。中国、韓国といったトップレベルの選手と対戦できたことは、出場した選手にとって良い経験を積むことができ有意義な大会であったと思います。

初戦の韓国戦では、1番で木村が緊張から序盤はリードされる場面もありましたが、国際大会の経験も豊富なこともあり、しっかりした対応能力を見せ3対0で勝利しました。2番で中村が1対3で敗れましたが、3番ダブルスが3対1、4番岡崎、5番青木が3対0で勝利し、韓国には4対1で勝つことができました。韓国選手はパワーやスピードが日本選手と変わらず、サーブ・レシーブでは日本選手が上回っていたと思います。

2日目は地元茨城県選手団と対戦しました。結果は5対0で勝つことができましたが、2年後の茨城国体に向けて強化が進んでおり、全選手が粘りのある特徴的な試合をしていました。更なる強化と試合経験を積み、地元の国体で素晴らしい成績を残してくれるものと思います。

最終日には中国と対戦しました。トップには、多彩なサービスとピッチの速い連続攻撃が得意な青木を起用しました。1ゲーム目は青木のピッチに中国選手がついて行けず、また、サービスも効いて6本で奪取。しかし、2ゲーム目以降は中陣から回転量のあるドライブをコース良く決められ1対3で敗れました。2番の木村は2ゲームを連取しましたが、3ゲーム目5-3からの連続サーブミスで流れが変わり、2対3で負けてしまいました。流れの変化を読み、それまで受け身であった中国選手が球筋やコースを読み、攻撃的なドライブを仕掛けてきました。ダブルスはサーブ・レシーブの得意な中村・青木組で勝負をしました。サーブの変化や多彩なレシーブで得点をしましたが、ドライブの回転に変化をつけられ、ラリーになると得点が取れずに0対3で敗れました。4番に岡崎、5番に杉本を起用しましたが、中国選手の回転量のあるドライブと大きなコース取りに徐々に引き離され両選手とも0対3で敗れました。

中国選手は日本の選手や韓国選手と比べ1つ1つの技術に安定性を感じました。回転量の多いドライブを前後に打ち、カウンターを打たせないようにしてパワーボールを左右に打つ。決して無理をせず、相手にリスクを負わせ確実に得点をしていたように思います。また、対応能力の高さや戦術転換のタイミング等、見習うところが多かったです。サーブに関しては、日本選手の巻き込みサーブが効果を上げていたと思います。

この貴重な経験を生かし世界活躍できる選手の育成に努めたいと思います。

第25回日本・韓国・中国ジュニア交流競技会に参加して

沼村 斉弥 野田学園

今回は、日韓中ジュニア交流競技会に参加させていただきありがとうございました。

今大会では韓国チーム、茨城チーム、中国チームと試合をしてチームでは1勝2敗、個人ではシングルス1勝1敗、ダブルス2勝0敗という結果に終わりました。韓国戦ではシングルス1番に出場し3-1で勝つ事が出来ました。この試合では自分のプレーをする事が出来て良かったと思いました。茨城戦ではダブルスに出場し3-0で勝つ事が出来ました。この試合では初めてカットマンとダブルスを組み良い試合が出来て勝つ事が出来て良かったです。そしてこの後、午後から茨城県選抜と練習試合をして6戦全勝で終える事が出来ました。中国戦ではシングルス1番とダブルスに出場しシングルスでは2-3で負けてダブルスでは3-2で勝つ事が出来ました。シングルの相手は世界ジュニアに出場している選手だったので勝ちきれなくて悔しかったです。ダブルスでは0-2から勝つ事が出来てすごく自信になりました。

この3日間で見つけた自分の課題があります。それは、サーブレシーブです。中国、韓国といった他国の選手のサーブは日本選手のサーブと少し違うのでレシーブミスで何度か失点をしてしまいました。しかし、この日韓中で中国、韓国の選手のサーブを取って何か感覚を掴めて良い経験になりました。中国選手は1つ1つの技術が優れていて隙がないという特徴があり、中国選手は憧れの存在でした。しかし、中国選手に競る事ができ、ダブルスでは勝つ事ができてすごく自信になり、モチベーションがとても上がりました。

今回の経験を生かして、もっと自分の技術を磨いて大学になったら全日本、全日学で優勝し、世界で活躍できる選手になりたいと思います。そして、東京オリンピックでメダルを獲得したいです。高校1年生から今回まで高体連の行事に参加させていただいた高体連の方々に感謝します。ありがとうございました。

蛭田 龍 希望ヶ丘

今回、日韓中ジュニア交流会に参加させていただき、本当に貴重な経験をする事ができました。ありがとうございました。

今大会、韓国チーム、中国チーム、茨城チームと試合をして、1勝3敗という結果でした。1試合目は、韓国の左利きの選手と対戦し、0-3の9. 8. 9で負けてしまいました。日本人の選手は、パワー系ではないので変化で崩しやすいのですが、この選手はパワーがすごく、自分の得意とする回転系のボールをパワー押し切れ、競った場面で攻撃できずに負けてしまいました。

3試合目の中国の選手には、1-3ゲームで自分が5度のゲームポイントを取っていたのにもかかわらず1度もゲームを取ることができず、0-3の13. 10. 9で負けてしまいました。この試合では、ラリーでパワーに押し切られてしまい、自分のパターンが出せなくなってしまいズルズルと追いつかれてしまいました。また後半になると、パワーで攻撃されることによって、メンタル面でも圧迫感に襲われ、プレーが消極的になってしまったのも敗因の一つです。

茨城戦では練習試合も含めて取られたゲームは1ゲームという結果でしたが、やはり回転系のボールが日本人には効くという印象でした。自分には中国選手のようなドライブ力が全然足りていないので、フィジカルを磨き、ラリーで負けないように基礎体力をつけたいと思います。

今大会では、技術的には選球力、パターン力が他の選手に比べて少ないことと、ゲームの終盤のメンタルの持ち方がまだまだトップアスリートではないと思いました。

この経験を生かして、海外の選手にも、対応できるような選手になろうと改めて思いました。今回の日韓中ジュニア交流会に参加して、他の選手にはできない経験や収穫がありました。この交流会に選んでいただいた高体連の方々に感謝を忘れず、これからの大会でいい成績を残せるように、努力します。本当にありがとうございました。

西村 星哉 浜松修学舎

今回、日韓中交流競技会に選んでくださりありがとうございます。今年は日本で開催ということで、食べ物など環境には困らず過ごすことができ、とても良かったです。初めての参加で慣れない部分がありましたがみんなと協力でき、楽しく試合をすることができました。

一日目は韓国戦。相手のエースと当たり、少し緊張して出だしが悪く、その流れで負けてしまいました。相手はパワーがすごく、攻められる場面が多かったのでブロックだけでなくカウンターをすれば、また違った展開になったと思いました。

二日目は茨城戦。大会開催地への感謝の気持ちを持って試合をしました。午後に申し合わせで茨城県の人とたくさん試合でき、とてもいい経験になりました。

三日目は中国戦。中国の選手は1つ1つの技術がとてもすごく、回転量やコースが日本とは違い、本当にいい勉強になりました。中国戦はダブルスに出場し組み慣れない中、二人で相談しながら、なんとか勝利しました。楽しくダブルスをすることができました。

中国、韓国と試合をすることは貴重な機会で、いろいろな選手のプレーをみて、真似したいプレーが多くありました。これから学校に帰ったら、是非練習したいと思いました。自分はラリーが得意で、ラリーになると海外選手はパワーがすごく、打ち負けることがあり、その時にどうするか、どう崩すかを考えないと海外選手との試合は厳しいと感じました。どうしたら相手に攻められないかなど、頭を使った卓球をこれから練習していきたいと思いました。これからも海外選手と試合できるように、まだまだ頑張っていきたいと思いました。

今回、日韓中交流競技会に携わってくれた、先生方、茨城県の方々にとても感謝しています。本当にありがとうございました。

渡井 丈人士 静岡学園

この度は日韓中ジュニア交流大会に選んでいただきありがとうございます。なかなか試合のすることの出来ない外国人の選手と試合が出来てとてもいい経験になりました。

最初の韓国戦ではダブルスで出ました。韓国人選手の台上の質の高さや、中陣からのドライブの回転量など圧倒されることが多かったです。特に勝負どころでの自分達のチキータに対しての待ちや、ハーフロングで出てしまったボールに対しても見逃すことなく打ち抜かれてしまい、自分達の甘さや勝負どころでのコースの選択をもう少し考えなければいけないと強く思いました。悪かったところもある反面、自分達の回転ボールや、タイミングをずらすことで韓国人選手は焦ってミスが多くなり焦ってくれたので、試合には負けてしまいましたが勝てる試合であったと思います。そういう試合を勝ちきれようになるためにミスの少なさを追求していくことと、ボールのコントロールや質を高めていく必要があると感じました。

終日の中国戦では中国の選手にストレート勝ちをすることが出来ました。自分の得意なYGサーブから相手の得意なチキータを防ぎチャンスを作ったり、バックストレートを使うことで相手の得意な回り込みも封じてバック対バックで自分が先に回り込むか、ミドルを突いたり先手を取ることが多かったのでとても良い流れで勝つことが出来ました。相手も戦術を変えることなくやってきたので、自分の得意な技術を出しきれたと思います。最近の大会の中では1番良いプレーが出来たので、大きな自信をつけることが出来ました。この一勝をきっかけにさらに自分の長所を伸ばしたいです。

今大会は新しい課題を見つけたと同時に、大きな自信をつけることが出来た大会でもありました。この大会をきっかけに全日本では一般の部でランク以上にはくい込んでいきたいです。またこういう機会をつくってくださった高体連の方々に感謝をし、今以上に頑張りたいです。

吉田 俊暢 専大北上

今回は第25回日中韓ジュニア交流会に選出していただきありがとうございます。昨年に引き続きこの大会に出場できてとても嬉しいです。

今回の試合では第1戦は韓国チームでした。私は4番で出場し、3対1で勝つことができました。1ゲーム目の出だしが良く、自分のパターンにもっていきことができました。バックカットで相手をミスさせることができ、競り合いの場面では3球目などで得点することができて良かったです。フォア側を相手がついてきた時にカットだけでなく、もう少し攻撃も増やしていく必要だと思いました。カットの変化をもっとつけていきたいです。

第2戦は茨城県チームと対戦しました。私は3番のダブルスと5番のシングルスに出場しました。ダブルスでは自分はストップなどが悪くて打たれる事がありましたが、後半からは相手にチキータをさせないようにしてしっかりと自分のプレーができました。シングルスでは自分のカットの変化を効かせる事ができました。サーブなども良く3対0で勝つことができました。

第3戦は中国チームと対戦しました。私は5番のシングルスに出場しました。1ゲーム目は自分のサーブが効いていてカットでも相手がミスをしてくれていましたが、2ゲーム目からは相手が無理をしなくなり、打ってくる事が少なく、ストップなどで前に落としてから強打をしてくるパターンになりました。それに対して両ハンドで攻撃も混ぜていきましたがクロスに打つ事が多く、相手にカウンターをされてしまいました。今年は全勝を目指していましたが、中国戦で負けてしまいとても悔しかったです。

今回海外の選手と試合する事ができて、とても良い経験になりました。この経験を生かし、今後さらに活躍します。約一週間高体連の方々にはとてもお世話になりました。本当にありがとうございました。

木村 香純 四天王寺

今回、日韓中交流競技大会に参加させていただいてとても良い経験ができました。

韓国戦では、右の裏裏の選手に3対0で勝ちました。1ゲーム目にデュースで取ることができたので、相手に流れが行くことなく勝つことができました。また、ダブルスでは杉本さんのレシーブで得点することが多く、そのレシーブに対して相手が返して来たとしても少し甘く返って来たので、4球目からも攻めて行くことができました。杉本さんと組ませていただけて良かったです。

茨城県戦では、バック表の選手と試合をして3対0で勝ちました。韓国や中国の選手と試合をするときは向かって行けるのですが、日本人と試合をするときは、勝たないといけないという気持ちが強くなってしまうので、緊張感がとてもありました。その中でドライブをするボールはしっかり回転をかけることができたので良かったです。

中国戦では、2対0から逆転されて負けてしまったのでとても悔しいです。3ゲーム目に2本連続サーブミスをして流れが悪くなってしまったことが敗因です。中国の選手のプレーを見て、バックドライブを振るときに手首を固定させて打っているように見えました。また、フォアミドルにボールが来たときに懐をきちんと作ってフォアドライブをしていました。私も真似てみようと思います。

今回の交流競技大会で、色々な技術や戦術を吸収することができました。この経験を生かして今後も上を目指して頑張ります。

今回で最後の高体連の遠征でした。これまで色々な遠征に出させていただいて、たくさんのことに気づき、学び、今まで色々なことを得ることができた遠征でした。有難うございました。

今回、日韓中交流競技会に参加させてもらい、ありがとうございました。

1日目は韓国と試合をさせてもらい、自分にはない技術がたくさんありました。ボールの速さは、日本人とはあまり変わらなかったけど、回転量がすごかったです。低いボールを出しても打たれてしまうし、サーブが台から出たら2球目から打たれてしまいました。サーブのコースや回転、試合のやり方を考えなければならないと思いました。特に、頭を使ったプレーをしなければならないということが改めて分かりました。真似できるような技術は真似したいと思いました。

2日目は茨城と試合をしました。茨城の人は、異質ラバーが多くて対応するのが少し難しいと感じましたが、ボールに慣れていくと対応できるようになっていきました。異質に対して色々な対応の仕方を練習したいと思いました。

3日目は中国と試合をしました。中国の選手は、回転量もすごく、ボールも速く、全然追いつくことができませんでした。回転量に対しては、ラケットの角度やラケットを出すタイミングを合わせれば、少しはラリーをひくことができたと思います。ボールの速さに対しては、反応してラケットを出さなければラリーにもならない場面が多くありました。今回は思いきりラケットを出すことも試せば良かったと思いました。サーブは思ったより回転がなく、普通のサーブだったので、慌てずゆっくりやればレシーブもしっかりと出来ました。

今後は、ラリーをひくとき相手が緩急つけてきたボールに対して、自分が早まったりしないようにしたいと思いました。貴重な経験をありがとうございました。

この度は、日韓中交流競技会に参加させていただきありがとうございました。この日韓中に参加して多くの事を学ぶ事が出来ました。

まず、試合では最初韓国の選手と対戦しました。韓国の選手は、パワーやボールの速さなどが日本の選手と似ていてとてもやりやすく感じました。1ゲーム目は緊張してなかなか上手くいくプレーが出来なかったのですが何とか取る事が出来ました。2ゲーム目は後半相手にリードされた場面がありましたが、ミドルに攻めるプレーをしたら取る事が出来ました。3ゲーム目は思い切ったプレーをしたら取る事ができ、3対0で韓国人の選手に勝つ事が出来ました。

2試合目は、茨城県の選手と対戦しました。私は、ダブルスで試合に出ました。2ゲーム目に相手にリードされる場面がありましたが3対0で勝つ事が出来ました。

最後は、中国の選手と対戦しました。中国の選手は、日本の選手よりもボールに回転がかかっているスピードもとても速かったです。私はバックが表ソフトを使っている選手と対戦しました。1ゲーム目は、サーブなどがきいて取る事が出来ました。しかし2ゲーム目からはサーブも効かずラリーでも勝ちきる事が出来ず3ゲーム連続で取られてしまい1対3で負けてしまいました。中国、韓国、茨城県の選手と戦って多くの課題が見つかりました。特に強化していかないといけないと感じたのはフォアハンドでした。ボールに威力がなくドライブを打ってもカウンターされてしまう事が多くありました。また、ラリー中に緩急がなくずっと一定の速さでプレーをしてしまったのもっと緩いボールも混ぜられるように練習していきたいです。

日韓中に関わっていただいた方々、本当にありがとうございました。様々なサポートのおかげで、全力でプレーする事が出来ました。

日韓中ジュニア交流競技会に参加させていただきありがとうございました。初めて韓国、中国のジュニア選手と試合をさせていただき、とても多くの事を学ぶことができました。

まず、初日に韓国の選手と対戦しました。韓国の選手はパワーや回転量が日本の選手と変わらなくてやりやすかったです。しかし、初めての外国選手との試合ですごく緊張してミスが多くなって負けてしまいました。技術面では相手は左のバック表の選手だったのであまりバックで打たせないようにフォアを狙っていきました。ラリーになった時はほぼ互角の勝負ができたと思います。私はバックの方が得意でフォアはすこし苦手意識があります。相手はすぐに私のフォアサイドにボールコースを変更して来ました。あまり安定せずミスも多く得点に繋がりませんでした。私の長所はラリーで粘って相手のミスを誘うところです。しっかり粘るところまで出来ていますが、さらにチャンスボールを作って得点出来るようにパワーアップをしていきたいと思います。

2日目は茨城県の選手と対戦しました。2年後に国体を控えており選手強化に取り組んでいると聞きました。私は5番で出場しました。相手選手の多彩なサーブに苦しみましたが、なんとか3対1で勝つことが出来ました。

最終日は中国の選手と対戦しました。中国の選手は回転量もパワーも圧倒的に強かったです。私も回転量の多い安定したボールが連続で打てるようにしていきたいと思います。試合では福井商業の青木さんとダブルスを組みました。初めてダブルスを組みましたが、パートナーと話し合いながら自分のやることはしっかりできました。

今回、日韓中ジュニア交流競技会に選んでいただき、とても良い経験になり、海外のトップ選手と試合や交流することが出来てとても大きな財産になりました。

最初で最後の高体連の試合でたくさんの事に気づき、学び得ることができました。最後になりましたが、丸山総監督や加藤監督、小林監督、地元高体連のスタッフや補助員の方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。

この度は、日韓中交流競技会に選抜していただきありがとうございました。今回、こうして海外のトップアスリートの選手と試合、交流ができたことは私の中でとても大きな財産になりました。

初日の韓国戦では四天王寺の木村香純さんとペアを組ませてもらいました。木村さんはドライブもブロックもとても安定していたので、私は繋ぐこととチャンスメイクに徹することができ、3-1で勝利することができました。日本は4-1で勝つことができました。

2日目は茨城戦です。開催地の地元チームということで、負けてはいけないというプレッシャーがわたしの中にあったような気がします。私は2番でカットマンの安藤さんに当たりました。昨日の中国戦では1点取っている選手だったので、絶対に負けたくなかったのですが、緊張と焦りから1ゲーム目を落としてしまいました。2ゲーム目からはゆっくりつなぐことを意識して「決めるボールだけ決める」、「コース取りをしっかりする」に変えてからはリードすることができ、私にも余裕ができて試合を進められました。私は3-1で勝ち、日本は5-0で茨城に勝つことができました。

3日目の中国戦では5番に出場しました。チームメイトの試合で、連続サーブミスから試合の流れが変わり、逆転負けをしたことが印象に残りました。サーブミスをしたことよりも、サーブミスをしたことで失った流れや、サーブへの恐怖感、サーブの事を考える事により、他への意識も薄れていきミスが多くなるということを目の当たりにして本当に勉強になりました。今回はサーブミスでしたが、これがレシーブミスであったり、スマッシュミスであったり、いろんなケースで考えられるので、今後は生かしていきたいと思います。私の対戦相手は長身でリーチも長く、試合になると回転量がとても多く、コース取りも私が厳しくしているのに、もっと厳しいところに返してきたり、レシーブから攻撃してきたり、本当にいつものレベルとは遙かに違うレベルでした。

今後はこの経験を生かして、大学生になってもさらに上を目指して行きたいと思います。5日間ありがとうございました。